

## ポータルサイト エフコープ 布ネックレス制作キットをプレゼント

エフコープ（福岡県）の大里区域委員会は、5月8日、みやぎ生協に、「布ネックレス」を作るキット50個と布を贈りました。布ネックレスは、糸や針を使わないので、「ふれあい喫茶」などでも簡単に作れると、好評です。

「ようやく暖かくなってきたから、おしゃれして外へ出掛けたいね」と話されていたタイミングでのプレゼントとなり、多くの方が喜ばれたそうです。他にも、福岡のお菓子などをみやぎ生協に送り、子育て広場などで活用されました。



簡単な材料で作れる布ネックレスは、多くの方に喜ばれました。

## ポータルサイト 不二つくばフーズ（株）「味、品質の更なる向上に取り組みます」

茨城県坂東市の不二つくばフーズ（株）は、「CO・OPぎんなんがんも」などの冷凍食品を製造しています。

震災後は多かった余震ですが、現在は少なくなり、安定した生産をしています。不二つくばフーズ工場長の岡田さんは、

「震災後、電力制限により生産量は減少しましたが、現在は原料も問題なく入手できています。今後は製品の味、品質の更なる向上に取り組み、新製品やリニューアル品の生産を進め、組合員の皆さまへお届けしてまいりますので、より一層のご愛顧をお願いいたします」と話していました。



不二つくばフーズ（株）の皆さん。



## 「伝えたい被災地」

このコーナーでは、ライター荒川和巳さんが被災地に入り、見たもの、感じたものをお伝えしていきます。

「仮設住宅は、ホント息が詰まるから」。  
生協のあるイベントで、熱いコーヒーをすすりながら組合員さんがぼつりと言う。  
「ここに来ると、ほっとする」。  
「狭いですからねえ。エコノミークラス症候群みたいになるそうですね」と私が言うと、「それもあけど……」と、言いにくそうに打ち明けてくださいました。  
仮設住宅では、周囲に気兼ねして皆さん息をひそめるように暮らしているそうです。  
小さなお子さんが騒ぐと、手を上げてしまうお母さんも少なくないとか。  
「泣き声が聞こえると、お菓子を持って様子を見に行ったりしてはいるのよ。  
あとは仕事が見つからない方が、荒れた生活を送られていたり……心配なことはたくさんあるわね」  
「ストレス解消のために何ができるでしょうか。できることは、いろいろとありそうですね」  
「そうよ、あなた企画してよ。みんな人がいいから、遠慮して言えないのよ」  
そんなわけで、宿題をもらって帰ってまいりました。皆さんも、この宿題、考えてみてください。



宮城県某所。街中に落ちていた茶碗。  
※写真と本文は関係ありません。